

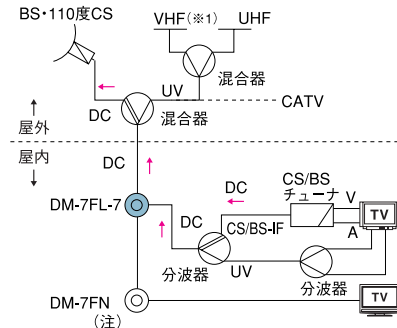
DM-7FL-7-B2
T4975584104269

取扱い方法
DM-7FL-7-B2

使用帯域 (10~2150MHz)

簡易直列ユニット (中間用)

■使用例



通電容量はDC15V・0.8A以下またはAC30V・1A以下です。

(注) DM-7FNはTV端子から通電することはできません。

(※1) VHFアンテナは、地上デジタル放送のみ受信する場合や、地上アナログ放送終了後は必要ありません。

■使用上のご注意

- この製品は通電仕様です。途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。また、必ず通電容量内でご使用ください。
 - 接続する同軸ケーブルは、正しい寸法で加工し、心線と編組をショートさせないでください。
- ※詳しい取扱方法は、この台紙の内側に印刷していますのでよく読んでご使用ください。



T4975584104269

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL (078) 682-0001 (代)
東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目1番5号 船井ビル TEL (03) 3526-4327 (代)
カスタマーセンター TEL (078) 682-0455



混入防止22番

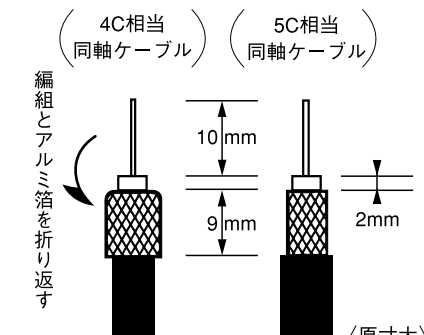


取扱い方法
DM-7FL-7-B2

■安全上のご注意

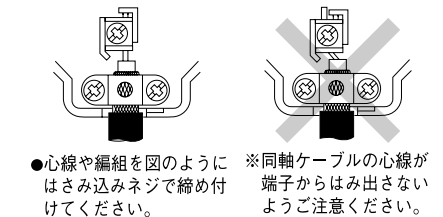
- ⚠ **警告** ●屋内専用。屋外や高温になる場所を避けること。水などでぬらさないこと。火災・感電や破損の原因となります。
 - 途中には通電形機器以外を挿入しないこと。また、同軸ケーブルの接続などで心線と編組がショートしたり、ケーブルを傷つけないこと。火災・感電の原因となります。
 - 異常が生じたら、接続している製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - 雷が鳴り出したら、手を触れないこと。感電の原因となります。
- ※“DM-7FL-7-B2”の末尾“B2”は包装形態を示しています。製品本体の表示は“DM-7FL-7”です。

■同軸ケーブルの加工方法



- ケーブルの先端加工の際、心線に傷がついたり、心線と編組がショートすることのないようご注意ください。
- CS/BS放送 (1032~2150MHz) を受信する場合には、同軸ケーブルは5C-FVSまたはBS-CDXなど低損失のケーブルをご使用ください。

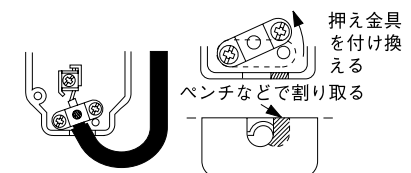
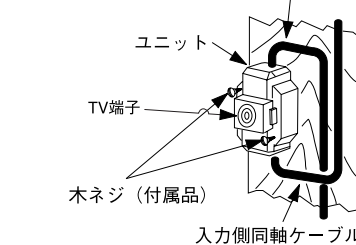
■ユニットの接続方法



■取付方法

- 図のようにケーブルをユニットに巻きつけるようにしながらボックスまたは板壁に取り付けてください。

〈板壁の場合〉 出力側同軸ケーブル



同軸ケーブルを小さく曲げて引き廻す場合は図のように押さえ金具を付け換え、ケースの薄い部分を割り取ってください。

- 市販の埋込取付枠を用いてアウトレットボックスなど埋込式で取り付けることもできます。
- ※TV端子の接続には別売のテレビコンセントプラグ (HP-7Aなど) をご使用ください。

作成 商品企画部